国土地理院ニュースレター　NEWSLETTER FROM GEOGRAPHICAL SURVEY INSTITUTE

月刊 ＧＳＩマップニュース

第125号　4 ページ　　平成 15 年 2 月 25 日発行

あて先	様	通信	

トピックス

主な記事

新刊情報 ── 平成 15 年 5 月 1 日新刊地図案内　2～4

つくば便り ── カザフスタン地震研究所長が来院　4

■地名等の統一に関する連絡協議会を開催

2 月 14 日、国土地理院と海上保安庁海洋情報部による第 64 回「地名等の統一に関する連絡協議会」を国土地理院で開催しました。

この協議会は、国土地理院が刊行している地図と海洋情報部が刊行している海図に記載されている地名の統一を図り、あわせて、日本国内の地名の標準化に資することを目的に昭和 37 年から毎年開催されています。

今回の会議では、20 万分 1 地勢図レベルでの地名の検討がなされていない地域について、引き続き調査を行っていくとともに、これまで決定地名の管理法としてきた「読み、書き」のみでなく、審議された地名の履歴、位置座標などを追加してデータベース化することが確認されました。また、今後開催予定の国連地名標準化会議等へ向けての準備や国際間にまたがる地名問題などに連携して対処していくことなども、あわせて確認されました。

■「海面上昇の総合的影響評価と適応策に関する研究」の現地調査（タイ国）を実施

国土地理院は、1 月 23 ～ 28 日、タイ王国カセサート大学と共同でバンコク周辺の「チャオプラヤデルタの海岸と後背低地」について現地調査を実施しました。

この研究は、アジア・太平洋地域における海面上昇に対する地盤、土地利用、都市への影響など総合的な脆弱性の評価と海面が上昇したときの適応策について検討するもので、国土地理院は「ＧＩＳを用いた脆弱性の評価と脆弱性マップ」の作成を担当しています。

バンコクの南東部に位置するシ・ロン地区は、マングローブ林が伐採されエビ養殖場になってから満潮時の海面上昇のスピードが増し、道路や床下が毎日長時間浸水しており、高床式による家屋の建築やマングローブの植林等の取り組みが行われています。

国土地理院は、現地調査結果を踏まえ他機関での研究結果も取り込み、ＧＩＳを用いた脆弱性の評価指標を定め、アジア・太平洋地域の脆弱性マップを作成していく予定です。

■「地図展２００３さいたま」開催を決定

1 月 31 日、（財）日本地図センターにおいて、「地図展推進協議会」が開催され、国土地理院から糸川総務部長ほか 6 名が出席しました。

地図展は、地図への理解と親しみを深め、地図利用の普及と向上を図ることを目的として、昭和 42 年から毎年 1 回開催され、測量・地図関係団体による「地図展推進協議会」が運営しています。

今回の推進協議会では、昨年 10 月に開催された「地図展２００２あさひかわ」の実施報告及び今年 4 月に政令指定都市へ移行する、さいたま市において 11 月 13 日から 17 日までの 5 日間、「地図展２００３さいたま」を開催することを決定し、開催概要・基本方針・展示概要等について了承しました。

■ＦＧＤＣ／ＧＳＤＩクリアリングハウス担当者が来院

2 月 6 日、米国ＦＧＤＣ（連邦地理データ委員会）及びＧＳＤＩ（全地球空間データ基盤）のクリアリングハウス・コーディネータであるネバート氏（Mr. Douglas D. NEBERT）が、国土地理院を訪問しました。

同氏は、ＦＧＤＣにおける地理情報の所在情報を検索するクリアリングハウスの責任者であり、今回の訪問では、ＳＤＩ（空間データ基盤）、地球地図、クリアリングハウスなどについて、国土地理院関係職員と意見交換を行うとともに、主な施設の視察を行いました。

職員との意見交換においては、①ＳＤＩ関係では、開発途上国における地理情報の普及啓発活動や活用方策、②地球地図関係では、昨年 9 月の地球地図国際運営委員会での検討内容、③クリアリングハウス関係では、ＩＳＯですすめられているメタデータの国際標準化の動きへの対応と今後の運用、について行われました。

施設の視察では、ＧＰＳのネットワーク、インターネットによる地形図提供に強い興味をもたれ、両国の関係部局間の緊密な情報交換が必要であることを強調されました。

新 刊 情 報

地図の価格と購入方法

［主な地図の価格］
1万分1地形図(5色)　450
2万5千分1地形図(3色) 270
5万分1地形図(4色)　290
20万分1地勢図(6色) 320
50万分1地方図(4色)650
100万分1日本(4色) 650
100万分1国際図(12色) 890
300万分1日本とその周辺 890
500万分1日本とその周辺 800
1万分1火山基本図　590
（円：消費税込み）

［購入方法］
国土地理院の地図を取り扱っている全国の書店等でお買い求め下さい。また、通信販売を利用することもできます。通信販売のお申し込みは下記へ。

(財)日本地図センター
普及販売部
〒153-8522
東京都目黒区青葉台4-9-6
TEL 03-3485-5414

国土地理院の地図に関するお問い合わせは下記へ。
国土地理院地理情報部
情報管理課生産管理係
〒305-0811
茨城県つくば市北郷1番
TEL 029-864-6876

数値地図の価格と購入方法

[価格:1枚(消費税込み)]
CD-ROM　:7,500円

[購入方法]
数値地図を購入する場合は、下記へ直接お申し込み下さい。また、国土地理院の地図を取り扱っている書店でも取り次いでおります。

(財)日本地図センター
普及販売部
TEL 03-3485-5414

刊行地図面数

(平成15年1月1日現在)
1万分1地形図　297面
2万5千分1地形図4,338面
5万分1地形図 1,291面
20万分1地勢図　130面

新刊地図案内

○平成15年5月1日刊行予定

2万5千分1地形図(柾判3色)　75面

図名	地図番号	実施年・種別	備考
伊茶仁	標津 14-2・4	13年 修正	一般道の完成及び拡幅、忠類川及びポー川の改修
豊原	〃 16-4	〃	一般道の完成及び拡幅、別海町役場の移転
計根別	斜里 4-3	〃	一般道の改良
西春別	〃 4-4	〃	国道272号の改良、一般道の改良
泉川	〃 8-2	〃	一般道の改良
上湧別	紋別 8-3	〃	一般道の完成、チューリップ公園及び郷土博物館ふるさと館の完成
中渚滑	〃 11-3	〃	一般道の完成
瀬戸瀬	〃 12-2	〃	境界変更(津軽町・生田原町)、一般道の拡幅
麓郷	夕張岳 5-3	13年 改測	
落合	〃 6-1	〃	
野寒布岬	稚内 8-1	13年 修正	税務署の移転、居住地名の表示
幌延	天塩 2-4	〃	保健センターの完成
更岸	〃 3-4	13年 改測	
丸松	〃 4-3	〃	
音類	〃 7-1	〃	
天塩	〃 7-2	〃	
小平	羽幌 8-2	13年 修正	国道232号の拡幅、一般道の完成及び拡幅、小平藻川の改修
焼尻島	羽幌10-1・2・3・4	〃	一般道の改良、港の整備
留萌	留萌 5-1	〃	国道231号・232号の拡幅、一般道の完成及び拡幅、留萌港の整備、住居表示の変更
栗山	札幌 2-4	〃	一般道の改良、総合福祉センターの完成、夕張川の改修
鹿部	室蘭 4-2・4	〃	一般道の改良、林道の延長、漁業研修所の完成
川汲	函館 1-2	〃	国道278号バイパスの完成、林道の延長
赤川	〃 1-4	〃	一般道の改良、林道の延長、漁港の埋立
陸中中野	八戸 3-3	〃	一般道の改良、漁港の埋立
小本	盛岡 1-2	〃	一般道の改良、林道の延長
安家	〃 5-1	〃	一般道の改良、林道の延長
白見山	〃 8-1	〃	一般道の完成及び拡幅
陸前千歳	一関 2-1・2	〃	埋立
綾里	〃 2-2・4	〃	三陸町が大船渡市に編入
津谷	〃 8-1・3	〃	ＪＲ気仙沼線「おおやかいがん駅」の移転、「道の駅」の完成、一般道の改良、港湾の整備
千厩北部	〃 11-3	〃	一般道の完成及び拡幅
志津川	〃 12-2	〃	一般道の完成及び拡幅、港湾の整備、志津川町総合体育館の完成
米川	〃 12-3	〃	相川ダムの完成
金成	〃 16-3	〃	一般道の改良
鹿島台	石巻 14-3	〃	境界変更(南郷町・鳴瀬町)、鶴田川の改修、ほ場整備、老人ホームの完成
早口	弘前 11-1	〃	新真中橋の完成、一般道の完成及び改良、下水道処理センターの完成

（次ページに続く）

新刊情報

(前ページより続く)

根城大台	弘前	15-1	13年 修正	一般道の改良、林道の完成
大神成	秋田	7-2	〃	一般道の拡幅、林道の完成
椿台	新庄	6-1	〃	スキー場の拡張
浅舞	〃	9-1	〃	一般道の拡幅、老人ホームの完成
古口	〃	16-2	〃	新庄市に大蔵村飛地を表示、国道458号の完成、「道の駅」の完成、一般道の拡幅及び改良
吉岡	仙台	2-1	〃	国道4号の拡幅、国道457号の改良、一般道の完成、大和流通団地の完成
根白石	〃	2-4	〃	境界変更(大和町・富谷町)
今宿	〃	7-4	〃	山形自動車道の拡幅、一般道の拡幅
山下	福島	1-1	〃	一般道の拡幅及び改良、坂元川の改修、老人ホームの完成
鬼怒川温泉	日光	8-1	〃	鬼怒川有料道路の完成、国道121号の拡幅
上三川	宇都宮	2-1	〃	北関東自動車道の完成、一般道の完成
鵜渡根島	三宅島	10-3	〃	公園の完成
式根島	〃	11-3,15-1	〃	一般道の拡幅
内野	長岡	1-2・4	〃	黒埼町が新潟市に編入、一般道の改良
千手	高田	6-1	〃	新越道大橋、吉田トンネル及び林道の完成
大割野	〃	6-2	〃	一般道の改良
往郷	〃	11-2	〃	境界変更(飯山市・木島平村)、国道403号の完成、一般道の完成及び拡幅
信濃松代	長野	13-2	〃	国道403号バイパスの完成、一般道の完成、藤沢川の改修
富山港	富山	16-1	〃	一般道の拡幅
見出	豊橋	6-1	〃	一般道の拡幅
田口	〃	6-3	〃	一般道の拡幅、林道の完成、津具村役場庁舎の移転
老津	〃	12-4,16-2	〃	一般道の完成及び拡幅、建物の増加
丹波大町	宮津	12-2	〃	一般道の拡幅、林道の完成
田後	鳥取	11-3	〃	港の整備、史跡の指定(鳥取藩台場跡・浦富台場跡)
生野	姫路	2-3	〃	栃原トンネルの完成、一般道の完成及び拡幅、林道の完成
印賀	高梁	9-4	〃	一般道の改良
土佐山	高知	7-3	〃	一般道の完成及び改良、林道の完成
久万	松山	3-1	〃	「道の駅」の完成、老人ホーム及び久万町立図書館の完成
中山	〃	7-1	〃	松山自動車道の完成、老人ホームの完成
大洲	〃	7-4	〃	松山自動車道の完成、四国横断自動車道の建設中
久賀	〃	9-3	〃	国道437号の経路変更、一般道の完成及び拡幅、老人ホームの完成、港湾の埋立
仁保	山口	7-4	〃	「道の駅」の完成
臼杵	大分	2-3	13年 部分修正	東九州自動車道の完成、一般道の完成
六連島	福岡1-3,小串4-4		13年 修正	国道495号の完成、北九州港の整備
岩屋	福岡	5-1	〃	ゴルフ場の完成
高千穂峰	鹿児島	1-2	〃	一般道の拡幅及び改良、林道の完成
桜島北部	〃	7-1	〃	一般道の完成及び改良
伊集院	〃	11-1	〃	南九州西回り自動車道の完成、九州新幹線の建設中、一般道の改良
仲宗根	与論島	12-2・4	14年 修正	一般道の拡幅、港湾の整備

(次ページに続く)

表の見方

用紙の大きさ(単位㎜)

柾	判	460× 580
菊	判	636× 939
四六	判	788×1091
四六半裁判		520× 738

図名

地図の名称で、その地図中に表示されている居住地名の中で最も著名なものを採用することが多い。山、湖沼、岬、島などの名称を採用することもある。

地図番号

地図の地球上における位置を示すもので、分類するのに便利なように系統的につけてある。2万5千分1地形図と5万分1地形図の地図番号の中の名称は、その地形図が含まれる20万分1地勢図の図名。

実施年

地図の現地調査を実施した年、若しくは編集を行った年。

種別

［修正］

修正測量の略称で、地図を定期的に全面修正する測量。

［改測］

すでに作成された2万5千分1地形図を新たに作成しなおすこと。

［部分修正］

部分修正測量の略称で、定期修正とは別に、1万分1地形図及び2万5千分1地形図の表示事項の一部に、現況との顕著な相違が生じた場合に、応急的に修正する測量。

［要部修正］

5万分1以下の縮尺の地図の部分修正。

［編集］

2万5千分1地形図とその他の資料を用いて、道路・家屋・等高線等の表示事項を取捨選択するなどして、5万分1地形図を作成すること。5万分1地形図から20万分1地勢図等を作成する場合も同様。

備考

修正事項等の中から特徴的なものを1～2選んで示した。

新 刊 情 報

（前ページより続く）

5万分1地形図（柾判4色） 13面

図名	地図番号	実施年・種別	備考
大楽毛	釧路 10	14年 要部修正	一般道の改良
陸別	北見 8	14年 修正	一般道の拡幅及び改良
人首	一関 9	14年 要部修正	国道396号及び397号の経路変更、国道399号の改良
千厩	〃 11	〃	国道458号の指定、国道284号の拡幅、一般道の完成及び拡幅
蟹田	青森 6	〃	国道280号バイパスの完成、「道の駅」の完成
長沼	白河 13	14年 修正	境界変更（郡山市・岩瀬村）、国道118号及び294号の改良、一般道の改良
土浦	水戸 16	〃	茎崎町がつくば市に編入、国道125号バイパスの完成、一般道の完成
伊那	飯田 1	〃	一般道の拡幅、味曽川ダムの完成
木曽福島	〃 5	14年 要部修正	御岳ロープウェイの完成
北川	剣山 14	〃	一般道の完成
室戸岬	〃 16南	〃	一般道の完成及び拡幅
臼杵	大分 2	〃	東九州自動車道及び国道217号の完成、一般道の拡幅
有川	長崎 15	〃	国道384号の拡幅

20万分1地勢図（柾判6色） 2面

図名	地図番号	実施年・種別	備考
久遠	NK-54-26・27	13年 修正	国道229号トンネルの完成、真駒内ダムの完成
延岡	NI-52-6	14年 修正	東九州自動車道の完成、国道219号・265号及び388号バイパスの完成、国道327号及び446号バイパスの経路変更

○平成15年3月24日刊行予定
数値地図25000（空間データ基盤）CD－ROM 9枚

図名
上川・宗谷、宮城、東京、神奈川、愛知、京都、愛媛、佐賀、沖縄

■刊行予定日変更のお知らせ

第124号でお知らせした以下の数値地図25000（空間データ基盤）ＣＤ－ＲＯＭ5枚の刊行予定日3月31日を3月24日に変更します。

「網走・根室、新潟、奈良、山口、福岡」

編集　国土地理院ニュースレター編集委員会
発行　国土交通省国土地理院地理情報部
〒305-0811　茨城県つくば市北郷１番
TEL 029-864-6876　FAX 029-864-1239
連絡先：情報管理課生産管理係
国土地理院ホームページのＵＲＬ
http://www.gsi.go.jp/

世界測地系の経緯度数値を表示した地図

国土地理院では、我が国の測量の基準を世界共通で使用できる世界測地系に改めた「測量法」の改正を受け、2万5千分1地形図等について、世界測地系による経緯度数値を表示しています。

世界測地系の経緯度数値を表示した地図については、国土地理院ホームページから「測量法関連事項」を選択し、「世界測地系緯度・経度対照表」（http://www.gsi.go.jp/MAP/NEWOLDBL/New_OldBLindex.html）の「20万分１地勢図対照表へ」または「5万分1、2万5千分1地形図の対照表へ」の各索引図で確認することができます。

つ く ば 便 り

■カザフスタン地震研究所長が来院

1月29日、カザフスタン共和国地震研究所のYergali NUSSIPOV所長が国土地理院を訪問しました。

同所長は、平成10年から国土地理院も参加して実施しているＪＩＣＡのチーム派遣協力「アルマティ市における地震防災及び地震リスク評価に関するモニタリング向上」のカウンターパートとして来日し、つくば市内の地震防災関連研究機関見学の一環として国土地理院を訪れたものです。

国土地理院では、電子基準点関連施設、ＶＬＢＩ観測局などを見学し、最近の日本における地殻変動研究についての説明を受けました。同所長は、国土地理院における地殻変動観測・研究について大変興味を示されました。

このニュースレターは、再生紙を使用しています。